

## □ 「2009年3月期 決算説明会」主な質疑応答

日 時：2009年5月21日（木） 15時～16時10分

場 所：大手町サンケイプラザ3階

登壇者：代表取締役社長執行役員 竹中 宣雄

常務執行役員 若月 恵治

取締役常務執行役員 田中 博臣

**Q. 6月4日から長期優良住宅法が施行されることにより、着工を延期されるケースはあるか？**

A. 契約中のお客様に、長期優良住宅法がどの程度メリットがあるか丁寧に説明しているが、着工を延期されるケースはごくわずかだ。また10月に施行される瑕疵担保履行法についても説明し、事前に保険をかけるなど対応している。

**Q. パネル事業の売上総利益改善要因は？**

A. 単価差により16億円改善しているが、主に原価企画によるコストダウンや資材価格の安定により24億円、販売価格の改善により10億円改善した。但し低価法の影響があり、16億円の改善となった。

**Q. 今期の売上総利益率が低下する要因は？**

A. 事業の多様化により、パネル事業のウェイトが約5%下がるためだ。また値引き等による単価減を想定して計画している。上期に比べ下期に利益率が改善する計画になっているが、工場の人員減が上期中になるので、下期に固定費が下がる計画となっている。

**Q. 戸建住宅の商品構成と商品別単価は？**

A. 商品全体の棟当たり請負単価は2,640万円。全体の約3割がスマートスタイルであり、棟当たり請負単価は2,000～2,200万円。

以 上